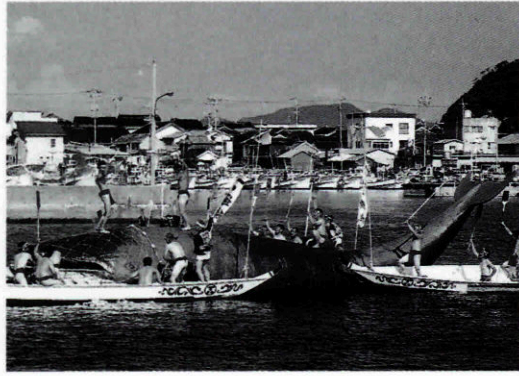


第一回日本伝統捕鯨地域サミット



四方を海に囲まれたわが国は、世界でも屈指の水産国として古くから捕鯨を営んできました。そして今でも全国各地で、鯨と人間とが関わってきた歴史・文化が育まれています。

4月25日から下関市で開催される第54回国際捕鯨委員会年次会合に先だって、「第一回日本伝統捕鯨地域サミット」が長門市で開催されます。長門市同様、捕鯨の歴史と文化を刻んできた地域が一堂に会し交流を深め、その歴史と伝統を掘り起こします。皆様のご来場をお待ちしています。

12:30 開場
13:00 開会
13:20 基調講演

「日本の捕鯨史」

縄文時代から現代までの鯨との関わり」

金沢医科大学助教授 平口哲夫氏
甲南女子大学教授 森田勝昭氏
桜美林大学教授 高橋順一氏

14:15 研究発表

太地（和歌山）、室戸（高知）、生月（長崎）、長門の伝統捕鯨について

15:15 休憩 実演「通鯨唄」（通小学校・児童）
15:45 パネル討論「伝統捕鯨から学ぶこと」
16:50 長門宣言の採択
16:55 閉会

17:00 鯨料理試食会（ルネッサながと特設会場）

※「日本伝統捕鯨地域サミット」にご来場の皆様は、鯨料理の試食をしていただきます。当日、サミット開場にて整理券を配布いたします。整理券は、開場時、配布予定です。

入場無料



ルネッサながと 3/21 (木)

●問い合わせ 水産課水産係 ☎23-1145